

4 . 資金収支計算書

資金収支計算書とは、コストではなく、あくまで現金ベースで1年間の資金の流れ、収支をみるもので、市の歳出をその性質に応じて「経常的支出」「公共資産整備支出」「投資・財務的支出」の3つに区分し、それに対応する財源収入を表した財務書類です。

紀の川市の普通会計資金収支計算書の要旨は以下のとおりとなっています。
(詳細は資料4 参照)

資金収支計算書(普通会計)の要旨

自 平成19年4月 1日
至 平成20年3月31日

1 経常的収支の部		(単位:億円)
経常的支出	167	
経常的収入	206	
経常的収支額	39	(A)

2 公共資産整備収支の部		
公共資産整備支出合計	31	
公共資産整備収入合計	27	
公共資産整備収支額	4	(B)

3 投資・財務的収支の部		
投資・財務的支出合計	67	
投資・財務的収入合計	31	
投資・財務的収支額	36	(C)

当年度歳計現金増減額(A)+(B)+(C)	1
期首歳計現金残高	8
期末歳計現金残高	7

紀の川市の平成19年度普通会計においては、経常的収支が39億円の黒字、公共資産整備収支が4億円の赤字、投資・財務的収支が36億円の赤字となっています。

経常的収支すなわち一般財源等の余剰分で、公共資産整備収支や投資・財務的収支の赤字を賄うこととなりますが、平成19年度においてはすべての赤字を埋め合わせられていないため、歳計現金が1億円減少することとなりました。